

---

エコアクション21

# 環境経営レポート

---

運用期間 第55期 2023年10月1日 ~ 2024年9月30日

---

発行年月日 2024年10月25日

株式会社 吾水総合コンサルタント

---



# 目次

---

## 〈PLAN〉

---

- 1. 組織の概要 1 ページ
- 2. 環境経営方針 3 ページ
- 3. 当年度及び中長期環境経営目標 4 ページ
- 4. 環境経営計画 5 ページ

## 〈DO〉

---

- 5. 実施体制表と役割分担表 6 ページ
- 6. 環境活動状況
  - 6-1. 社内の環境活動状況 7 ページ
  - 6-2. 地域の環境活動状況 12 ページ

## 〈CHECK〉

---

- 7. 環境関連法規などの遵守状況 13 ページ
- 8. 環境活動の実績(環境経営目標の達成状況) 14 ページ
- 9. 環境活動の取組結果・評価 15 ページ
- 10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画
  - 10-1. 次年度及び中長期環境経営目標 17 ページ
  - 10-2. 次年度の環境経営計画 18 ページ

## 〈ACT〉

---

- 11. 代表者による全体の評価と見直し・指示 19 ページ

1. 組織の概要

事業所名	カシガイヤ コスツウコウ 株式会社 吾水総合コンサルタント
代表者名	代表取締役社長 児島 克典
所在地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社 〒806-0065 福岡県北九州市八幡西区養福寺町7-9 TEL：093-621-3366</li> <li>・福岡支店 〒812-0008 福岡県福岡市博多区東光2丁目8-17 TEL：092-433-9400</li> <li>・佐賀事務所 〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島2丁目18-10 TEL：0952-31-3641</li> <li>・熊本事務所 〒861-4113 熊本県熊本市南区八幡5丁目10-1 TEL：096-320-5880</li> <li>・下関事務所 〒759-6301 山口県下関市豊浦町大字川棚6879-1 TEL：083-242-2300</li> </ul>
環境責任者および担当者連絡先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境責任者 佐伯</li> <li>・担当者 泉</li> </ul>
事業規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立年月日 1970年9月22日</li> <li>・資本金 2500万円</li> <li>・従業員数 27名（男20、女7）</li> <li>・事業年度 10月1日～翌年9月30日</li> </ul>
登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設コンサルタント 第01-1513号（令和元年10月）</li> <li>・測量業者 第13-3847号(平成30年4月)</li> </ul>
認証登録範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録対象事務所 本社、福岡支店、佐賀事務所、熊本事務所、下関事務所</li> <li>・活動 全組織、全活動を対象とする</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木設計業 道路・橋梁・河川・上下水道</li> <li>・測量業 測量業務全般</li> </ul>



株式会社 吾水総合コンサルタントは、土木・測量等総合建設コンサルタントとして、社会資本整備(公共事業)における調査・計画・設計を行っている会社です。

## 土木設計

- 道路構造物,橋梁点検, 補修設計
- 河川護岸
- 上水道,下水道
- 公園
- 都市計画
- 宅地造成,区画整理
- 環境アセスメント
- 点検調査
- 工事監理

## 測量調査

- 地上測量全般及び各種台帳作成

### 入札

•委託を受けたら、担当者から設計仕様書を受領し、業務の内容を把握して業務計画書を作成します。

### 調査・設計

- 現地の状況・環境に見合った設計が必要とされます。
- 委託を受けたらまず現地へ赴きその土地の特性を十分に調査します。どの現場もそれぞれ条件が違うので全て基準書通りには行きません。
- 基準書に当てはまらない場合はより良い計画を提案します。

### 成果納品

•設計仕様書に記載されている業務を全て遂行したらその業務で行った全ての調査・設計内容をまとめ照査を行い、製本して委託者に納めます。

当社は、工事に必要な設計図書(設計図面・各種計算書等)を作成します。  
最適の技術で客先の信頼と満足を得る品質を提供しています。

## 2. 環境経営方針

---

### 環境経営理念

---

社会・環境貢献活動に積極的に取り組み、環境に与える影響を低減し、

自然環境との共存を計れるよう活動します。

### 環境経営方針

---

重点事項について環境目標・計画を策定するとともにこれらを見直して

環境経営システムの継続的改善を図ります。

- 二酸化炭素排出量の削減に努める。
  - ・ 電力使用量の削減を行う
  - ・ 化石燃料(ガソリン)使用量の削減を行う
- 水使用量の削減に努める。
- 一般廃棄物の削減・再利用・再資源化に努める。
- 設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手し、技術向上に努める。
- 環境関連法規を遵守する。
- 地域の環境活動に積極的に参加する。
- 環境への取り組みを全社員に周知すると共に、広く公開する。

改定日：2018年 8月 1日  
株式会社 吾水総合コンサルタント  
代表取締役

児島克典

### 3. 当年度及び中長期環境経営目標

事業年度：10月1日～翌年9月30日

〈削減目標〉 基準年度より-1%/年を目標とし削減に努める

環境目標	単位	基準年度	当年度	中 期		
		53 期 2021/10～ 2022/9	55期 2023/10～ 2024/9	56 期 2024/10～ 2025/9	57 期 2025/10～ 2026/9	58 期 2026/10～ 2027/9
削減目標			(△2%)	(△3%)	(△4%)	(△5%)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	39,515	38,725	38,330	37,934	37,539
電力使用量	kWh	35,477	34,767	34,413	34,058	33,703
ガソリン使用量	L	9,692	9,498	9,401	9,304	9,207
水使用量	m3/人	5.2	※1 5.2	5.2	5.2	5.2
一般廃棄物排出量	kg/人	22.2	※2 21.8	21.5	21.3	21.1

〈プラス目標〉

設計における環境配慮	件/年	3	件	環境効果の高い資材や工法の情報収集のための研修・講習に積極的に参加する。
地域の環境活動	回/年	12	回	月に1回、社屋の周辺清掃を行う。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の令和2年度実績 調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを用いた

※ 業務において化学物質を使用することはない

※1 水使用量については、53期以上の削減は難しいと判断したため現状維持を目標とする

※2 一般廃棄物排出量については、人員の増減による実績値の振り幅が多いため一人あたりの削減目標とする

4. 環境経営計画

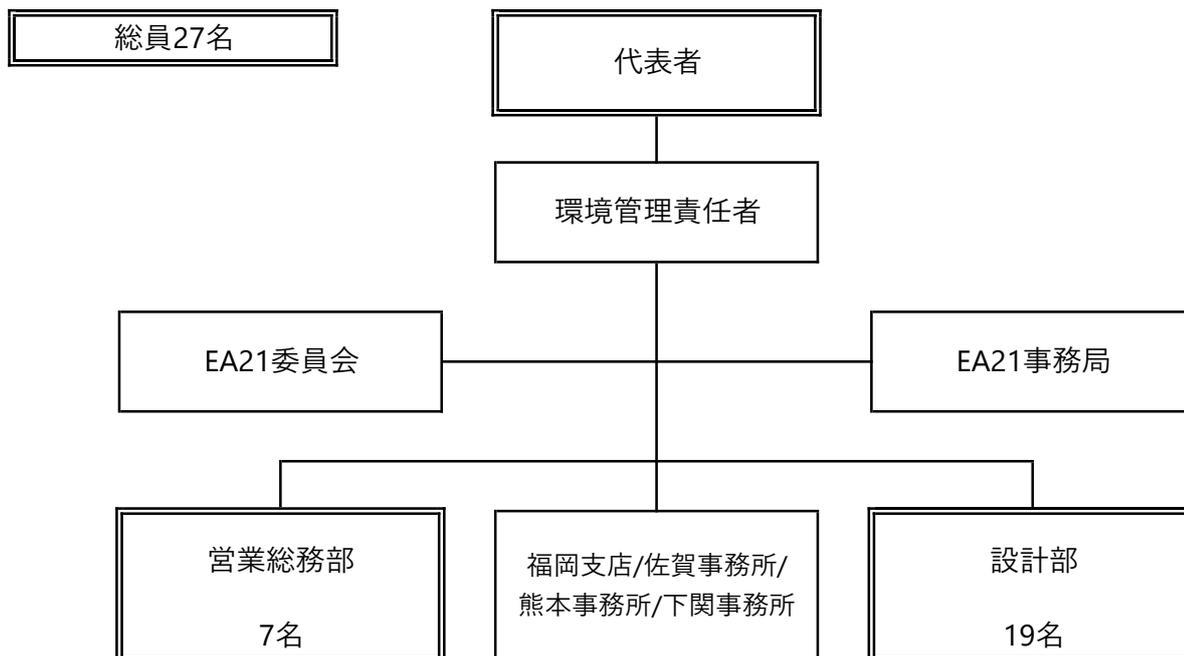
取組目標		活動内容	活動計画			
			10~12	1~3	4~6	7~9
二酸化炭素排出量の削減	電力 使用量	エアコン設定温度		エアコン使用時		
		扇風機・サーキュレーターの利用による冷暖房の効率化				
		LED照明への随時取り替え		随時導入		
		不要な照明の消灯		通年実行		
		不要電力消費抑制 (未使用時のプリンター、外出時のPC)				
	クールビズ・ウォームビズの励行					
	ガソリン 使用量	エコドライブの励行		通年実行		
		・アイドリングストップ				
		・急発進、急停車の防止等				
		・ルート・配車計画の合理化				
・タイヤの空気圧チェック						
エコカーへの随時入れ替え		随時導入				
定期的な安全点検		通年実行				
水使用量の削減	水を流したままにしない		通年実行			
	水道メーター・水回りの水漏れ確認		随時導入			
一般廃棄物 排出量の削減	電子機械の利用によるペーパーレス化		通年実行			
	裏紙利用、両面印刷の推進					
	リサイクル可能な紙類の収集					
	シュレッダーの活用・雑がみの分別による一般廃棄物の低減					
設計における 環境配慮	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習に積極的に参加する		通年実行			
地域の環境活動	月に1回、全社員で社屋の周辺清掃を行う		通年実行			
	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策に協力・参加する		通年実行			

日常的に行っている活動

消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認
	熱感知器の確認
フロア定期点検	空調・冷蔵庫等の点検
社員への周知 徹底・意識改革	半期ごとにごみの排出量と車両燃費を掲示
	一年分の活動実績を掲示
	環境活動を促すポスター等を掲示

5. 実施体制表と役割分担表

実施体制表



役割分担表

担当	役割・責任・権限・使命
代表者	全体の統括／環境方針の設定 全体の課題とチャンスの見直し・社員に周知させる
環境管理責任者	全体の把握／環境経営システムの構築と運用 その状況を代表者に報告する／是正処置の指示
EA21委員会	年に2回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
	社屋周辺美化活動管理者
	購入電力管理者
	消火器点検者
	フロア定期点検管理者
EA21事務局	水使用量管理者
	各種書類の作成・管理 社員への周知徹底・意識改革
	一般廃棄物管理者
	ガソリン使用量管理者

## 6. 環境活動状況

### 6-1. 社内の環境活動状況

#### プルスイッチ型 LED 照明

社内で最も電力が必要とされる設計部の照明は、外出時等で不要な照明はこまめに消灯できるように配置しています。

また、LED照明を採用しており、長寿命化にも配慮しています。



#### パソコンの電源

設計業務ではパソコンが必要不可欠であり業務の殆どがパソコン作業になります。そのため外出時や長時間パソコンを使用しないときは、こまめに電源を切るようにしています。

ここがPOINT!

全社員のPCモニター画面の枠【外出時電源オフ】シールを貼っており、少しでも節電につながるよう注意を促しています。



#### エアコンとサーキュレーター・扇風機

環境省が推進している空調使用時の室内温度【夏期28℃、冬期20℃】を遵守するようにしています。

また、サーキュレーターや扇風機を使い冷暖房の効率を上げています。

冷暖房に頼り過ぎないクールビズやウォームビズも実施しています。



## 空気清浄機・加湿器



新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、空気清浄機を導入しています。新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザウイルス、また花粉やハウスダストも吸い取り、幾つものフィルターを通してきれいな空気に変えてくれます。



また、冬期は暖房効率を上げるため、加湿器を使用しています。室温が同じ20°Cでも、湿度20%よりも湿度50%の部屋のほうが体感温度が上がると言われているので、温湿度計も社内に数箇所設置して、日々気を配るようにしています。

## エコドライブ

社用車全てに右のようなシールを張っており、エコドライブを心がけるように注意を促しています。

環境省によると緩やかな発進を意識する事で、約10%程度燃費が改善されるそうです。また、車内の温度設定を外気と同じ25度に設定したままだと12%程度燃費が悪化するようです。

社員への教育や正確な燃費管理、定期的な点検なども行い、全員が安全でエコな運転ができるように活動しています。

参考：環境省「エコドライブ10のすすめ」



ここがPOINT！

社員へのエコドライブの呼びかけのため、社員の通用口である玄関に環境省の「エコドライブ10のすすめ」のポスターを掲示しています！



## シュレッダーの導入



一階と二階に一台ずつ設置しており、主に個人情報保護を目的として使用しています。

シュレッダーで細断した紙くずも古紙として回収しているため、裏紙として使えない、半端なサイズのメモ用紙や作業中に出た紙の切れ端などもシュレッダーを使用して細断し、ごみの排出量の削減・リサイクルにつなげています。



ここがPOINT！

設計業務上では個人情報や機密事項を取り扱うことが多いです。外部にもれないようにしっかりと分別することを心がけるよう、全社員に呼びかけています。

## コピー機



使用済みの紙を集め、裏面印刷に用いています。ただし裏面が白紙であっても、穴が開いていたり、ステープルで綴ってあるものは複合機の都合で使用出来ません。なので、メモ用紙にしたり、シュレッダーで細断して古紙で回収するなど、ごみ排出量の削減・リサイクルに努めています。

集めた裏紙は裏紙専用のトレイに入れ、試し印刷などで使用しています。

また、両面印刷・両面コピーを推奨しており、資源の無駄遣いを無くすように呼びかけています。



## グリーンカーテン

グリーンカーテンの効果として挙げられるのは、その周辺の景観的美化や夏場の日差し・室内の気温を和らげることです。

また、エアコンの冷房を同じ温度に設定しても、温度が高い部屋はその分だけ負荷がかかるため、電力を多く消費します。なので、グリーンカーテンはエアコンの消費電力をおさえるという省エネ効果もあります。



スナップエンドウ、ミニトマト、ゴーヤを育てています

## 会社周辺の側溝清掃



会社周辺の側溝等の清掃を月に一度行っています。

側溝に溜まったヘドロや腐った落ち葉などを取り除くことにより、それらから発生する悪臭を防ぎます。また、台風や豪雨などの際、側溝に溜まった土などで道路が冠水してしまわないように定期的に清掃を行っています。

ここがPOINT！

燃費向上のため、清掃活動と一緒に社用車の空気圧点検を行っています！





## 6. 環境活動状況

### 6-2. 地域の環境活動状況

外部からの苦情 今期の活動における外部からの環境に関する苦情等はありませんでした。

会社の取り組み 月に1回、社員全員で社屋の周辺清掃を行っています。  
また、地域のSDGsの取り組みに参加して社員の意識向上を図っています。

#### 北九州SDGsクラブ 令和3年11月に入会

北九州市HPより引用

##### 《北九州SDGsクラブ》

SDGsの達成のためには、産学官民による幅広い活動の推進が不可欠です。  
北九州市では、SDGsに関連する活動にすでに取り組んでいる、又は関心をもっている団体・企業・個人等が参加できる組織「北九州SDGsクラブ」を創設することで、会員同士の交流や情報交換を通じて、各々の活動の活性化を目指します。

#### 福岡県SDGs登録制度 令和5年2月に入会

福岡県HPより引用

##### 《福岡県SDGs登録制度》

企業や団体は、自らの事業活動を通じて、ジェンダー平等や気候変動対策、循環型社会づくりなど、社会の課題を解決することがこれまで以上に求められています。  
「福岡県SDGs登録制度」は、SDGsに積極的に取り組む企業や団体を県が広く公表し、SDGsへの貢献を「見える化」することで、登録事業者の取り組みを支援する制度です。

#### 会社での取り組み

##### ◎SDGsに繋がる事はなにか

北九州SDGsクラブHPにも大切な取り組みとして「いま行っている活動がSDGsに繋がるか考える」と記載されています。そこで、私達が今行っているエコアクションもSDGsに大きく繋がるのではないのでしょうか。これからもエコアクションに力を入れるとともに、他にも繋がる活動が無いか考えていきたいと思えます。



福岡県SDGs登録制度第1期登録企業に選ばれ登録証授与式に参加しました



7. 環境関連法規などの遵守状況

遵守状況の確認

適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘もありません。

また、期間中に防火用設備等点検報告書を八幡西消防署に提出しました。

基本法令	適用対象	適用項	規制内容抜粋	具体例	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物	6条の2	許可を受けた一般廃棄物収集運搬業者及び一般廃棄物処分業者に委託しなければならない 一般廃棄物の運搬または処分を委託する場合には政令で定める基準に従わなければならない	北九州市の登録を受けている事業所に委託する	適合
		4条の4 〔施行令〕	一般廃棄物の運搬または処分、再生を業として行うことができる者、且つ、それらが事業の範囲に含まれるものに委託すること		※1 (株)環境技術センターに委託している
再商品化法	特定家庭用機器廃棄物	6条	事業者は、特定家庭用機器をなるべく長期間使用することにより排出を抑制するよう努める	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機等	適合
			排出する場合は、収集運搬または再商品化等をする者に適切に引き渡し、その求めに応じ料金の支払に応じること	新しく購入した店舗に引き取ってもらう等	期間中対象物件無し
使用済自動車に関する法律	使用済自動車	8条	自動車の所有者は、当該自動車を使用済自動車となったときは引取業者に当該使用済自動車を引き渡さなければならない	都道府県知事又は保健所設置市市長の登録を受けている事業所に委託する	適合 期間中対象物件無し
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	空調・冷蔵庫	5条	当該特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化に努めるとともに、国及び地方公共団体が特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化のために講ずる施策に協力しなければならない	第一種特定製品の定期点検を実施し、点検記録を作成、保存を行う	適合
		45条	当該引渡しを終了したことを当該引取証明書により確認し、かつ、当該引取証明書を受領した日から主務省令で定める期間保存しなければならない。	取引があった場合は引取証明書の写しを3年間保存する	四半期に一度点検を行い、記録を保存した
消防法	建物	17条の3 3の3	防火対象物の関係者は、その防火対象物に設置されている消火器具について、定期的に点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。	消火器・火災報知器等の確認、定期的に点検報告書を提出	適合 点検を行った
北九州市環境基本条例	事業者	5条	事業活動に伴う環境への負荷をできる限り低減するために必要な措置をしなければならない	外出中はパソコンの電源を切る等	適合 随時、事業活動で取り組んでいる
			事業活動に係る物の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努めるとともに、再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない	金物や古紙等を回収業者に引き取ってもらう	
			市が実施する環境の保全に関する施策に協力する責務を有する	市が主催の環境に関するイベント	

※1 (株)環境技術センター 事業一般廃棄物収集運搬許可 北九州市許可番号：第07610046086号

## 8. 環境活動の実績(環境経営目標の達成状況)

第55期の実績は以下の通りです。

### <削減目標>

活動期間： 2023年10月 ～ 2024年9月

項目	単位	基準年度	当年度		目標達成状況	
		53期	目標値 (△2%)	実績	達成率	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO2	39,515	38,725	40,135	96%	△
電力使用量	kWh	35,477	34,767	37,024	94%	△
	kWh/日	139.7	143.1	152.4		
ガソリン使用量	L	9,692	9,498	9,639	99%	△
平均燃費	km/L	18.0	※1 —	18.8		
水使用量	m3	134	※2 —	107	130%	○
	m3/人	5.2	5.2	4.0		
一般廃棄物排出量	kg	576.3	※2 —	481.1	122%	○
	kg/人	22.2	21.8	17.8		

※端数処理は四捨五入とする

### <プラス目標>

設計における環境配慮	件/年	8	件	※研修・講習に参加した件数	実施
地域の環境活動	回/年	12	回	※社屋の周辺清掃を行った回数	実施

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の令和2年度実績 調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを用いた

※ 業務において化学物質を使用することはない

※1 平均燃費に関しては、目標を立てず前期の実績値と比較して向上を図ることとする

※2 水使用量と一般廃棄物排出量について、人員の増減による実績値の振りが多いため一人あたりの使用量を削減目標とする

#### 【目標達成状況での判定】

- |           |   |                         |
|-----------|---|-------------------------|
| ○ 100%～   | → | 目標を達成している。              |
| △ 99%～80% | → | 目標の達成には及ばないが、経過観察の必要あり。 |
| × 80%未満   | → | 目標を達成できていない。是正処置が必要である。 |

## 9. 環境活動の取組結果・評価

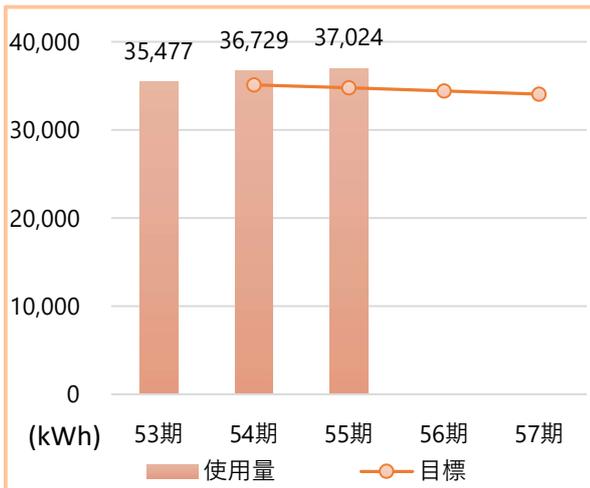
今期の環境活動の取組状況の確認・評価と次年度の取組内容について会議を行いました。

1) 評価者名 代表者

2) 出席者 環境管理責任者、EA21委員会、EA21事務局

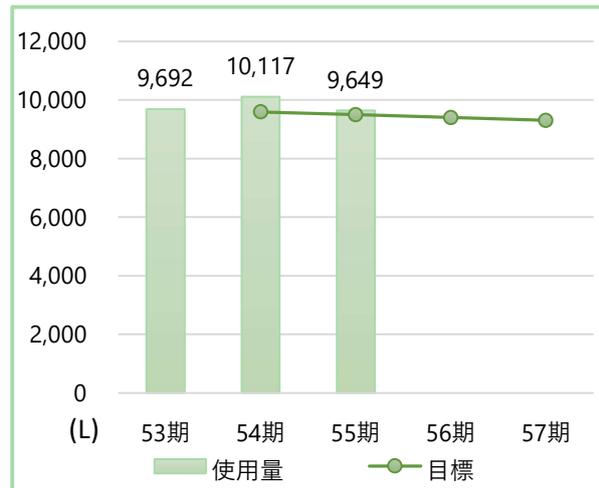
3) 各項目の実績値の推移 ※目標の達成率は「環境活動の実績」を参照

### 電力 使用量



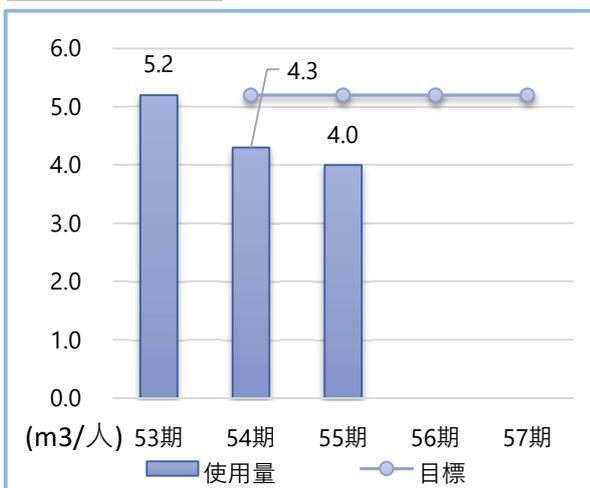
- ・ 前期実績から+295kWh
- ・ 最大使用量は8月であり、冷房の影響が大きい。(最小値の5月と比べ3.0倍)

### ガソリン 使用量



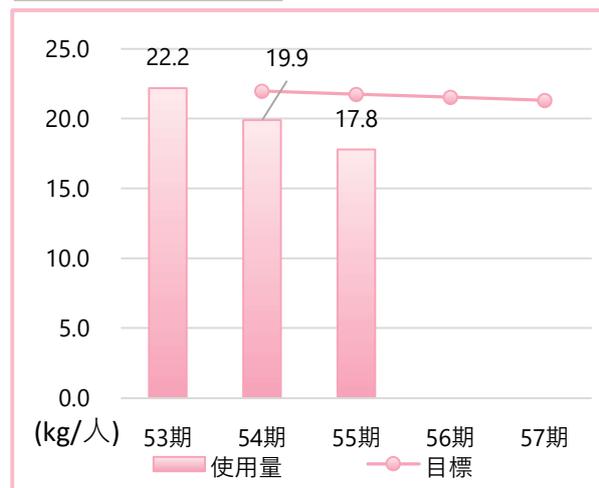
- ・ 前期実績から-468L
- ・ 目標値には届かなかったものの、前期及び前前期の値に比べ削減された。

### 水 使用量



- ・ 前期実績から-0.3m3/人
- ・ ウォーターサーバーの導入もあり、過去最小の水使用量となった

### 一般廃棄物 排出量



- ・ 前期実績から-2.1kg/人
- ・ 総排出量としては56.2kg(約1ヶ月分以上)削減できた(月平均40.1kg)

4) まとめ

《評価と見直し》 環境経営計画より引用

取組目標	活動内容	評価	見直し
二酸化炭素排出量の削減	電力 使用量	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな温度調整を行い、冷えすぎ暑すぎに注意した</li> <li>PC未使用90分未満の場合はより消費電力の少ないスリープモードを活用するよう教育した</li> <li>クールビズ・ウォームビズをより実施できるよう制服を見直し新しくした</li> </ul>
	ガソリン 使用量		
水使用量の削減	水を流したままにしない 水道メーター・水回りの水漏れ確認	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>水漏れがないか点検を行った</li> </ul>
一般廃棄物排出量の削減	電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷の推進 リサイクル可能な紙類の収集 シュレッダーの活用・雑がみの分別による一般廃棄物の低減	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内資料は裏紙を活用するよう教育した</li> <li>ごみの分別をより意識してもらうよう教育し集めた古紙を回収してもらった</li> </ul>
設計における環境配慮	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習に積極的に参加する	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後導入予定のドローンの講習会や、技術研修会に参加した</li> </ul>
会社周辺の清掃	月に1回、全社員で清掃を行う	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>社屋付近の側溝の清掃や社内の設備点検等も合わせて行った</li> </ul>
地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策に協力・参加する	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>北九州市が行う職業体験イベントに出店側スタッフとして参加した</li> </ul>

《次年度の取組内容》

- ・ 昼休み時のPCスリープや外出時のシャットダウンなど**電力のかからない削減方法**を社員に教育し、それを徹底してもらう
- ・ 高速での移動距離が長いとその分ガソリンを消費することになるが、燃費の向上を見込めるので社員には**エコドライブをより一層心掛ける**ように教育する
- ・ 節水の教育は十分に行き渡っていると見られるが、これからも**節水を怠らず現状維持**を続けられるように注意していきたい
- ・ 手洗い場の紙ゴミを削減する為**ハンカチ持参**を社員に推奨したり、お昼ご飯の**ごみが出ないような工夫**してもらうなど社員の意識向上になるよう教育する

以上の取組内容を踏まえ次頁に来期の環境経営目標及び環境経営計画を添付する。

## 10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

### 10-1. 次年度及び中長期環境経営目標

〈削減目標〉 基準年度より-1%/年を目標とし削減に努める

環境目標	単位	基準年度	次年度	中 期		
		53 期 2021/10～ 2022/9	56期 2024/10～ 2025/9	57 期 2025/10～ 2026/9	58 期 2026/10～ 2027/9	59 期 2027/10～ 2028/9
削減目標			(△3%)	(△4%)	(△5%)	(△6%)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	39,515	38,330	37,934	37,539	37,144
電力使用量	kWh	35,477	34,413	34,058	33,703	33,348
ガソリン使用量	L	9,692	9,401	9,304	9,207	9,110
水使用量	m3/人	5.2	※1 5.2	5.2	5.2	5.2
一般廃棄物排出量	kg/人	22.2	※2 21.5	21.3	21.1	20.9

〈プラス目標〉

設計における環境配慮	件/年	3	件	環境効果の高い資材や工法の情報収集のための研修・講習に積極的に参加する。
地域の環境活動	回/年	12	回	月に1回、社屋の周辺清掃を行う。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の令和2年度実績 調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを用いた

※ 業務において化学物質を使用することはない

※1 水使用量については、53期以上の削減は難しいと判断したため現状維持を目標とする

※2 一般廃棄物排出量については、人員の増減による実績値の振り幅が多いため一人あたりの削減目標とする

10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

10-2. 次年度の環境経営計画

取組目標		活動内容	定期的な評価(上半期/全期間)					
			活動計画					
			10~12	1~3	4~6	7~9		
二酸化炭素排出量の削減	電力 使用量	エアコン設定温度		エアコン	使用時			
		扇風機・サーキュレーターの活用による冷暖房の効率化						
		LED照明への随時取り替え			随時	導入		
		不要な照明の消灯						
		不要電力消費抑制 (未使用時のプリンター,外出時のPC)			通年	実行		
		クールビズ・ウォームビズの励行						
	ガソリン 使用量	エコドライブの励行						
		・アイドリングストップ						
		・急発進、急停車の防止等						
		・ルート・配車計画の合理化						
	・タイヤの空気圧チェック							
	エコカーへの随時入れ替え			随時	導入			
	定期的な安全点検			通年	実行			
水使用量の削減	水を流したままにしない			通年	実行			
	水道メーター・水回りの水漏れ確認			随時	導入			
一般廃棄物 排出量の削減	電子機械の利用によるペーパーレス化							
	裏紙利用、両面印刷の推進							
	リサイクル可能な紙類の収集							
	シュレッダーの活用・雑がみの分別による一般廃棄物の低減							
設計における 環境配慮	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習に積極的に参加する			通年	実行			
地域の環境活動	月に1回、全社員で清掃を行う			通年	実行			
	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策に協力・参加する			通年	実行			

日常的に行っている活動

消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認
	熱感知器の確認
フロソ定期点検	空調・冷蔵庫等の点検
社員への周知 徹底・意識改革	半期ごとにごみの排出量と車両燃費を掲示
	一年分の活動実績を掲示
	環境活動を促すポスター等を掲示

## 11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

### 環境経営方針について

環境経営方針で誓約したことが実行されていた。一般廃棄物排出量は、安定した縮減率が得られている。電力使用量の増加（記録的猛暑により冷房稼働率が増加したことが要因）と、ガソリンの増加（遠方業務の受注が多かったことが要因）は、いずれも特異なもので定量評価することが困難であるため、現在の方針のまま経過観察を行うよう指示した。

### 環境経営目標及び環境経営計画について

環境経営目標は適切であり、環境経営計画は適切に実施されている。  
活動内容は、社員全員が取り組める項目となっており、問題ない。

### 実施体制について

今期は環境責任者の交代を行った。また、EA21委員会とEA21事務局の運営にあたっては、ベテランから若手社員への教育が適切に行われており、継続的な活動が周知徹底されている。実施体制は、きちんと機能している。

### 総論

今期も環境経営システムは、有効に機能していると評価するため、「環境経営方針」、「環境経営目標及び環境経営計画」、「実施体制」の見直しの必要はない。

2024年 10月 23日  
代表取締役

児島克典



## 株式会社 吾水総合コンサルタント

代表取締役社長 児島 克典  
環境管理責任者 佐伯 博紹

〒806-0065

福岡県北九州市八幡西区養福寺町7番9号

TEL : 093-621-3366

FAX : 093-621-5110

URL : <https://gosui-consul.net/>